



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会  
2018年度 活動団体応援プログラム 活動報告書  
〔まなびデザイン〕（北海道札幌市）

【団体紹介 HP】 <http://bouken-asobiba.org/play/asobiba-230.html>

## 1年間の活動の概要

2018年は桑園公園でのプレーパークを10月と12月の2回実施しました。また、（多分北海道イチ短い商店街？の）真駒内上町商店街にて、北海道初となるご近所みちあそびを実施することができました。さらに、ワークショップを2回、茶話会を2回実施しました。今年度はあとプレーパークを2回、ワークショップを1回実施する予定です。

## 次の1年間でチャレンジしたいこと！

- ・桑園あそびばプロジェクトを、多くの人を巻き込みながら拡大していきたい。
- ・人材育成の内容を充実していきたい。（インプット、アウトプットを拡充する）
- ・資金調達の方法をもっといろいろな視点で検討する。（民間のスポンサーなど）



▲遊び場の様子（2018年10月21日開催）

## 【運営メンバーから一言！】

2018年は桑園あそびばプロジェクトが立ち上がり、まなびデザインにとって再スタートを切ったような年でした。半年かけて企画していたミニ大通でのみちあそびが、北海道胆振東部地震の影響で中止となり、がっくりもしましたが、活動を見つめなおすきっかけともなりました。

来年度はさらに多くの人にあそびの大切さを知ってもらい、プレーヤーとなってもらえるような活動を進めていきたいと思っています。

（代表 寺坂崇）

## 【協会から応援メッセージ！】

北海道唯一の常設プレーパークを運営する施設で働きながら、自身でも団体を立ち上げてライフワークとしてプレーパークに取り組む寺坂さん。その熱量が影響して今年の札幌はなかなか雪が降らなかったとか？！これからもたくさんの人を巻き込み多種多様なバディを得て、まずはご近所から、そして札幌いや北海道のプレーパークを盛り上げていってください！

（地域運営委員（北海道） 岡村恵子）



▲みちあそびの様子（2018年9月23日開催）

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <http://bouken-asobiba.org>